

令和6年度 松本市・信州大学 連携事業

No.	事業名	事業概要	事業の効果	事業期間	構成する機関		
					産	学	官
1	包括連携協定(信州大学・松本市連携協議会)	文化、産業、医療、教育、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的に、包括連携協定を締結し、連携事項の円滑な推進を図るため、連携協議会を設置するもの	連携協議会の開催により、連携事業の実施状況、連携の効果及び課題を共有することができるとともに、今後の連携の方向性等を確認している。	H17～		信州大学	松本市
2	フューチャーデザイン(地域政策研究会)	環境、人口、社会保障等の持続可能性が論点となっている種々の社会問題の解決には、現代世代が持つ将来世代に対するエゴをコントロールすることが最大の核心となることを指摘した、最新のアプローチ この新たな手法をどのように実際の政策等に応用するかについて、松本市における実施を含めて、市職員と研究者が密接に連携して手法開発を行うプロジェクト	地域が抱える本質的な問題や複雑化した課題について、研究を進めていくことにより解決に向けた糸口を見つけていくことができる。 これまで、新庁舎建設計画及び次世代交通政策の検討を実例にワークショップを実施。令和3年度から、地域づくり・公民館分野での実践を進めている。	H28～		信州大学 立命館大学	松本市
3	連携コーディネーター制度	民間事業者や行政職員に大学連携コーディネーターを委嘱し、産学官連携事業等のプロデュース活動を活性化する制度として実施。大学の研究や教育シーズについて学ぶとともに、地域のニーズ等を大学と共有するためのワークショップを実施する。	連携協定の実質化として、個人が連携窓口になって具体的なプロジェクト等のコーディネート、プロデュースができる。	H28～	金融機関	信州大学	県内各自治体
4	地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業	水循環・水由来のグリーン水素エネルギー循環システムの基礎研究から社会実装までを一気通貫で推し進めるため、信州大学において、新しい拠点(「アクア・リジェネレーション共創研究センター(仮)」)を松本キャンパス内に整備	アクア・リジェネレーション分野のPI/ユニットや研究・実証機器を同拠点に集約し、水循環、燃料電池分野を得意とする山梨大学との研究連携、長野県内でのフィールド実証及び事業化、全学をあげた産学官共創・スタートアップ強化等を図る。	R5-	県内企業、業界団体等	信州大学 山梨大学	松本市
5	地域中核・特色ある研究大学強化促進事業	世界的にも特色のある研究大学として、人の活動に必要な水や水由来の水素エネルギーを、循環型・地産地消型で持続供給(サステナブルな供給)することで、人々の命と豊かな生活、産業を支え、ひいては経済成長と地球再生の両立の実現を目指す	アクア・リジェネレーション分野のコンソーシアムを形成し、以下のような活用(循環)により、水・エネルギー地産地消モデルの実証タウンを形成する。 ・未来社会像の設定、地域課題解決のシナリオづくり ・水循環、地産地消型水由来水素等の研究開発 ・地域での実証・評価	R5-	県内企業、業界団体等	信州大学 山梨大学 東京大学 名古屋大学 東京理科大学等	松本市 長野県 飯田市等
6	まつもとRe-Design Hub	地元企業の競争力を高めるデジタル化支援として下記取組みを行うため、KPI達成に向けた進捗管理、推進のためのノウハウ提供、事業の周知を産学官金連携により行うもの。 ・デジタル利活用促進業務 ・デジタルシティ松本フォーラム ・デジタルシティ松本推進機構(DigiMAT)への参加	・地元企業のデジタルマインドの醸成 ・地元企業のデジタル化の支援 ・デジタルシティ松本の実現に向けた研究	R4.5.16～	・松本商工会議所 ・一般財団法人松本ものづくり産業支援センター ・株式会社八十二銀行 ・株式会社長野銀行 ・松本信用金庫	信州大学	・松本市 ・経済産業省 関東経済産業局(アドバイザー) ・総務省 信越総合通信局(アドバイザー)

No.	事業名	事業概要	事業の効果	事業期間	構成する機関		
					産	学	官
7	デジタルシティ松本推進機構 (DigiMAT)	市民の幸福度の最大化を目指し、人口の定常化につなげるため、地域課題の解決や新しい価値の創造に資するデジタルサービス創出への支援及び地域デジタル人材の育成を産学官連携により行うもの。	松本市が抱える地域課題の解決と新たな価値を生み出し続けるイノベーション・エコシステムの形成	R5.4.12～	・セイコーエプソン株式会社 ・ソフトバンク株式会社 ・株式会社テレビ松本 ケーブルビジョン ・日本電気株式会社 ・東日本電信電話株式会社 ・株式会社日立システムズ ・SearchSpace株式会社 ・㈱ブラルト ・㈱ステッチ ・㈱大原建設 ・有限責任監査法人トーマツ	信州大学(特別会員)	・松本市 ・長野県(特別会員) ・まつもとRe-Design Hub(特別会員) ・経済産業省 関東経済産業局(オブザーバー) ・総務省 信越総合通信局(オブザーバー)
8	持続可能な奈川地区推進協議会	人口減少と少子高齢化が著しい奈川地区において、将来像を明確にして諸課題の解決に取り組む、持続可能な地区となることを目指すもの。	・持続可能な奈川地区推進計画2023「奈川のみかたをふやす道標」策定 ・奈川小中学校におけるデュアルスクール及び自由進度学習の推進	R3. 9～	・(株)ふるさと奈川 ・DMOアルプス山岳郷	信州大学 松本大学	松本市
9	地域づくり研究連絡会	「地域づくりに係る信州大学経法学部と松本市との連携協力に関する覚書」に基づき、松本大学を含めた三者による研究連絡会を設置し、地域づくりの推進に係る調査・研究、研修事業等を実施するもの	・学生との協働プロジェクトの展開により、若者が活躍できる地域社会の構築や地域づくり人材の育成に貢献できる。 ・各種研究事業等を通じて、中長期的な地域づくりの方向性が明らかになる。	H24～		信州大学 松本大学	松本市
10	地域づくり市民活動研究集会(未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い)	松本らしい地域づくりの一層の推進に向けて、地域、行政、大学、NPO・市民活動団体等、多様なネットワークを構築するため、関係者が一堂に会して学び合う研究集会を開催するもの	市内各地で展開される様々な実践に学び合い、課題解決に向けたつながりや気づきを得ることで、地域活動の更なる活性化が期待できる。	H24～		信州大学 松本大学	松本市 松本市教育委員会
11	松本をもっとよくしようプロジェクト (まつもっと)	学生が松本市に愛着を持ち、永く定住を希望するような魅力ある街にするために「松本をもっとよくしていこう」を理念として活動するもの ①まつもと暮らしガイドブックの作成 ②「学割でおトクにかえるパスポート(学割力エルパ!)」事業 ③大学生向け街歩きイベントの開催 ④「ほくらのまつもとデジタルマップ」実行委員会への参加	若い世代が松本市に興味関心を持つきっかけになるとともに、学生目線の新たな事業・仕組みが構築され、地域の活性化につながる。	R元. 7～		信州大学	松本市
12	奈川えんがわプロジェクト	信州大学の学生有志による活動。 持続可能な奈川地区を目指して、『今、住んでいる人の暮らしを少しでも楽しく充実したものにするにはどうしたらいいか』をテーマに、地域の声を大切にしながら自分たちができるところを見つけて活動を進めている。	学生ならではの考え方や取り組みが地域の活性化につながる。 学生が地域住民と関わり、地域を知ることによって地域への愛着や地域づくりを担う人材育成につながる。	R3.4～		信州大学	松本市
13	寄付講義「松本市の魅力発見ゼミー松本のアンバサダーになろうー」	・学生(若者)目線で松本市の魅力について考えてもらい、その魅力を発信する。 ・学生(若者)の見方や考え方を移住施策の参考とする。	学生(若者)の移住促進	R2.10～		信州大学	松本市

No.	事業名	事業概要	事業の効果	事業期間	構成する機関		
					産	学	官
14	行政評価 外部評価	行政評価の客観性を高めるために、政策的事業を対象に大学有識者による外部評価を実施。包括的連携協定を締結する信州大学及び松本大学に所属し、第11次基本計画で掲げた7つの政策分野に精通する有識者を、それぞれ外部評価員に委嘱	実施計画の策定などを通じ、今後の政策立案や事業の見直しに反映	R4～		信州大学 松本大学	松本市
15	松本ユース平和ネットワーク	若者が平和について考え、学習や活動を通して、平和を発信できる人材育成を図るもの	若者世代や地域全体の平和意識の高揚を一定程度図ることができた。	H28～		信州大学 松本大学	松本市
16	大学の実習への職員派遣や学生受入れ	包括連携協定に基づき、経法学部の行政法務実習及び環境法務実習等に、講師として職員の派遣や学生の受入れを実施するもの	大学から市への実習の成果報告	H28～		信州大学	松本市
17	選挙啓発及び主権者教育	学生と選管事務局との意見交換会の実施や、国政選挙における大学内への移動期日前投票所設置及び運営の補助等を選管事務局と連携して行うもの	学生が主体となって同世代に啓発や選挙時の投票補助を行うことで、若年世代の選挙や政治に関する意識の醸成を図ることができること。 併せて、移動期日前投票所を大学構内に開設することで、政治参加、投票へのきっかけとなること。	H29～		信州大学	松本市
18	松本大北地域出産・子育て安心ネットワーク事業	松本及び大北医療圏の市町村や医療機関等で構成する「松本大北地域出産・子育て安心ネットワーク協議会」を通じて、分娩医療機関の負担軽減を図り、安心・安全に出産できる産科医療体制を維持している。 健診協力医療機関・分娩医療機関の両医療機関で利用する共通診療ノートの活用とともに、講演会・相談会を内容とする公開講座を開催するなど周知、啓発を実施している。	共通診療ノートの活用等により、妊娠初期からの健診と、分娩を受ける医療機関の役割分担の推進と負担軽減が図られ、安心・安全な出産ができる体制が整備されていること また、出産・子育て公開講座を開始し、地域住民に対し、出産・子育ての医療体制の理解と協力を得るため、周知啓発を図ること	・松本地域 出産・子育て安心 ネットワーク事業 H20～ R2 ・松本大 北地域出 産・子育て 安心ネット ワーク事 業R3～	・松本市医師会 ・塩筑医師会 ・安曇野市医師会 ・大北医師会 ・松本市産婦人科医会 ・松本市小児科医会 ・長野県助産師会中 信地区（松塩筑、安曇野、大北）	信州大学医学部	松本市 塩尻市 安曇野市 麻績村 生坂村 山形村 朝日村 筑北村 大町市 池田町 松川村 白馬村 小谷村 松本広域連合 北アルプス広域連合 松本市保健所 松本保健福祉事務所 大町保健福祉事務所 長野県立こども病院
19	認知症サポーター養成講座	学生への出前講座の実施	より実践的な認知症についての知識を深めること	H29頃～		信州大学	松本市
20	認知症サポーター養成講座	共通教育科目の「健康科学・理論と実践」講義に、認知症の正しい理解、適切な対応法を学び、認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座を活用していただくもの	より実践的な認知症についての知識を深めること	R元～		信州大学	松本市

No.	事業名	事業概要	事業の効果	事業期間	構成する機関		
					産	学	官
21	学生実習	看護師を目指す学生の地域看護学における行政の役割や支援方法を学ぶための臨地実習を受け入れるもの ＜主な連携内容＞ 1 実習オリエンテーションでの事業説明 2 保健センターでの事業見学 3 実習時の指導・助言	後進の育成及び職員の人材育成	H18～		信州大学	松本市
22	まつもと子ども未来委員会サポーター	まつもと子ども未来委員会のサポーターとして子ども達の学習のサポートを行う	子ども未来委員会の子ども達に年齢に近い大学生がサポートすることにより、委員会活動が活発になり、子どもの意見表明や社会参加の促進につながる	R元～		信州大学	松本市
23	こども法務実習事業	大学教員、学生、県・市職員による児童虐待通告対応ロールプレイの実施	実習参加者の児童福祉行政や関連法案に対する理解が深まる。 新任職員向けの研修プログラムとして活用できる。	H30～	松本赤十字 乳児院	信州大学	松本市 長野県
24	気候市民会議まつもと	ゼロカーボンシティの実現に向け、松本市民が気候変動について話し合い、行動できるような市民目線の取組みを考える場として「気候市民会議まつもと」を開催するもの	会議を通して、「市民アクションプラン」を作成する	R6		信州大学 (信州大学グリーン社会 協創機構)	松本市
25	松本平ゼロカーボン・コンソーシアム	脱炭素社会の実現に向け、広く松本地域の産学官の力を結集させ、地域性と事業性とは両立したエネルギー自立地域の形成が促進される事業の展開を支援するもの	・会員企業／団体の脱炭素及びエネルギーの地産地消に係る知識の底上げ ・会員企業／団体の脱炭素事業の立上げ支援 ・会員企業／団体同士の脱炭素及びエネルギーの地産地消に係るシーズとニーズのマッチング	R4～	105者(R6. 9. 19時 点)	信州大学 特定非営利活動法人環 境エネルギー政策研究所	松本市 安曇野市 塩尻市 朝日村 山形村 長野県(アドバイザー)
26	マイボトル利用促進事業	・浄水機能をもつ結晶材料「信大クリスタル」を搭載したアクアスポットsweeを設置することで、マイボトルの利用を促進し、SDGs達成、脱プラ社会の実現を目指すもの	信州大学と本市の連携により、市内16か所にアクアスポットsweeを設置	R3～	ヴェルヌクリスタル株式 会社	信州大学	松本市
27	脱炭素先行地域事業	乗鞍高原地区(ゼロカーボンパーク)の宿泊施設・飲食店等を含めた全民生需要家を、再エネ設備、省エネ設備等の導入のほか、地域主導型・地域裨益型の小水力発電施設の導入により脱炭素化を図る。 また、観光客等が利用するE-bikeやグリーンスローモビリティを導入し、環境配慮型二次交通を構築するもの	・小水力発電施設は、地域裨益型の再エネ施設として活用。収入は、地域の課題解決への活用を想定するなど、将来世代に有用な地域資産として継承 ・ゼロカーボンを体現する移動手段等の提供等により、世界水準のサステナブルツーリズムモデルを構築し、世界に冠たるゼロカーボンパークを形成し、観光業の底上げを推進	R4～R8		信州大学	松本市
28	松本市 森林再生市民会議	市民と森林の距離を縮めることを目的に、森林への興味関心を生むためのイベントやワークショップを実施するとともに、松本の森林再生につながる「長期ビジョン」を策定するもの	市民の森林に対する関心が高まり、森林・林業が抱える課題に対して考えるきっかけになる。 また、森林長期ビジョンの策定により、一層、森林の再生及び健全な森林づくりや適正な森林循環の構築及びゼロカーボンシティの実現につながる。	R4～R6		信州大学	松本市
29	ツキノワグマ 学習放獣事業	有害鳥獣駆除で錯誤 捕獲されたツキノワグマを学習放獣するもの	地域住民の安全確保とツキノワグマの保護	H20～		信州大学	松本市

No.	事業名	事業概要	事業の効果	事業期間	構成する機関		
					産	学	官
30	松本地域産学官連絡会	産学官が一体となってネットワークを構築し、既存中小企業者や起業家等への効果的な支援を行う方策を研究するため設置	各種シンポジウム、研修会の開催をはじめ、展示会出展支援、研究会の設置など、中小企業者への支援を実施	H13～	(一財)松本ものづくり産業支援センター (株)信州TLO (公財)長野県産業振興機構松本センター 松本商工会議所 松本機械金属工業会	信州大学 松本歯科大学 松本大学	松本市 長野県松本地域振興局 商工観光課 長野県工業技術総合センター情報技術部門
31	松本ものづくり産業支援センター	新たな「松本市工業ビジョン」に基づき、工業活性化のための支援機関として設置	企業課題の解決のために、産学共同事業への誘導、各種支援に活用	H30～ (H21～)	松本商工会議所 (公財)長野県産業振興機構松本センター	信州大学	松本市
32	信州メディカルシーズ育成拠点	・平成22年3月8日開設 ・平成23年6月メディカル機器47機器を共同利用開始	企業が通常手に入らないような検査機器を安価で貸し出し可能となり、企業の開発の速度が上がった。	H22～	社団法人長野県経営者協会 鍋林(株) キッセイ薬品工業(株) (公財)長野県産業振興機構	信州大学 松本歯科大学	松本市 JST 長野県 長野県工業技術総合センター
33	信州メディカル産業振興会	・平成22年5月24日設立 ・現在までに数回の講演会、施設見学会等を開催 会員99(企業等56・大学等10・医療等3・行政等17・金融機関8・個人5)R6.4現在	メディカル分野へ参入を目指す企業を集めて情報交換、ニーズ発掘を行うことにより、既存機器の改良、新たな機器の創出が行われた。	H22～	鍋林(株) キッセイ薬品工業(株)他 54社	信州大学 他9団体	松本市 他16団体
34	松本市農業の課題解決プラットフォーム・コア会議	高齢化や担い手対策、地産地消、環境にやさしい農業など多様化する農業の課題を効果的かつ具体的に解決するため、個別課題ごとに解決に取り組むプラットフォームを設置・運営するもの ○ プラットフォームの構成 【コア会議】 課題の整理、利害関係者による課題別検討部会の調整を行う 【課題別検討部会】 個別課題に応じて利害関係者が具体的な解決策を協議する場	プラットフォームコア会議で大局的な視点から本市の農業課題や進むべき方向を整理し、2つの課題別検討部会を設置した。 課題別検討部会において課題解決の取組みを進め、コア会議に報告、フィードバック、PDCAサイクルにて課題解決を図る。	R5～	農業者 利害関係者	信州大学	松本市 松本市農業委員会
35	地方型スタートアップ創出・成長加速エコシステム「IJIE(アイジー)」	大学の研究シーズに基づく起業を地方自治体、地方銀行等との連携により推進し、地方型スタートアップ創出・成長加速エコシステムを実現するもの	地域独自のイノベーションエコシステムを構築することにより、スタートアップと地域産業との融合・連携で新たな付加価値と雇用を創出し、地域の活性化と経済成長に貢献する	R5～R9	信州TLO他	信州大学他5大学	松本市他10団体
36	松本市ものづくり人材育成連絡会	平成24年に松本市で開催された技能五輪全国大会を契機に、次代に繋がる人材育成施策として、市内の学校、企業、労働団体及び行政等で構成する連絡会を設立し、若年者の人材育成や地元への就職、定着を支援するもの	連絡会の各事業を通じて、若年者のものづくりへの関心に寄与する。	H25～	一般社団法人長野県経営者協会 中信支部 松本機械金属工業会 松本商工会議所 ものづくり工業部会 松本臨空工業団地管理組合 松本市大久保工場公園 団地管理組合 松本市西南工場団地協議会 松本市地区雇用福祉協議会 松本職業安定協会	信州大学 松本大学 松本工業高等学校 中信地区高等学校校長会 松本市中学校校長会	長野県松本技術専門学校 松本職業能力開発促進センター(ポリテクセンター松本) 松本公共職業安定所 長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 松本市

No.	事業名	事業概要	事業の効果	事業期間	構成する機関		
					産	学	官
37	セイジ・オザワ 松本フェスティバル	世界的指揮者小澤征爾氏が創立した、サイトウ・キネン・オーケストラによる世界最高水準の国際音楽祭「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」を開催するもの	「音楽とスポーツ都市宣言」を掲げる松本市にとっての実践活動として、音楽文化と地域の振興を図る。	H27～	セイコーエプソン(株) 信濃毎日新聞社 (株)八十二銀行 松本商工会議所 キッセイ薬品工業(株) アルピコホールディングス(株)	信州大学	松本市 長野県
38	技術職人材確保事業 ①学部長・担当教員等との面談 ②学生との交流会	①本市の技術職員募集についてPRするため、学校を訪問し、学部長や担当教員等と面談するもの ②学生に対して本市技術職員の業務内容等について説明するとともに、現役職員との懇談を行うもの(対面又はオンライン)	①有益な情報交換を行うことができ、効果的な人材確保につながる。また、学校と顔の見える関係づくりを行うことができる。 ②現役職員との交流を通して、学生に業務内容や職場の雰囲気等を知ってもらうことができる。	①H28～ ②R5～		信州大学	松本市
39	学都松本推進事業 映画「手でふれてみる世界」上映会 & トーク(R7.2.11)	信州大学人文学部「学びの場を地域に創る2023」事業と連携し、美術館を会場に映画上映及び美術館長と金井教授によるトークを実施	信大の事業に市民が気軽に参加できる機会を創出し、学都を実感する機会となる。	R5～		信州大学	松本市
40	信州大学全学教育センターと松本市教育委員会との連携協力事業	信州大学全学教育センターと連携して講座や研修等を実施し、教育文化センターの事業や教職員研修を含む、教育活動全般の充実を図るもの。R4年3月に信州大学全学教育センターとの連携協定を締結。今年度はサイエンスカレッジを複数回実施した。	学都松本の重要な要素である信州大学を身近に感じ、その活動や研究成果を市民が享受できる。	R4～		信州大学	松本市
41	信州大学全学教育センターと松本市教育委員会との連携協力事業	松本キャンパス教職課程(人文・理学)の学生が、教育実習を終えた4年次後期に履修する、必修科目「教職実践演習」を松本市教育委員会関係者とともに実施。 【R6実績】 ・1コマ(特別支援教育で大切なこと) ・1コマ(生徒指導で大切なこと) ・5コマ(国社数理英の授業づくりで大切なこと) ・教育課程研究協議会への参加(人文学部16名、理学部49名)	現場で即戦力となる教員の育成・輩出に寄与。	H25～		信州大学	松本市
42	信州大学全学教育センターと松本市教育委員会との連携協力事業	松本キャンパス教職課程(人文)の学生が、3年次前期に履修する、「指導法特論」を松本市教育委員会関係者とともに実施。 【R6実績】 ・人文学部24名 ・3コマ(国社英、授業運営について)	実践的な教職教育を目指した授業、中学校教諭の養成に寄与。	R3～		信州大学	松本市
43	松本市中央図書館及び信州大学医学部附属病院患者図書室の連携事業	松本市図書館ネットワークシステムによる図書館業務の実施	入院患者、外来患者及び患者に関係する市民等に図書資料を提供し、教養、調査研究、レクリエーション等に資する。	H21～		信州大学	松本市
44	信州大学附属図書館と松本市図書館との連携協力	・貸出資料の連携サービス(相互返却) ・相互貸借の活用 ・インターネットでの蔵書検索システムの相互リンク ・図書館のイベントや職員研修などの合同実施	図書館サービスの向上及び地域の学術・文化の発展に寄与する。	H22～		信州大学	松本市
45	英語でおはなし会	・毎月1回、中央図書館で英語のおはなし会を開催	子どもたちが自然に楽しく英語に親しむことに寄与する。	H24～		信州大学	松本市
46	長野県宝松本市旧司祭館活用事業	旧司祭館の更なる活用に向けて共同して調査研究を進め発信事業を重ねつつ、令和7年の県宝指定20周年記念事業を実施するもの	旧司祭館の調査研究の深化及びPR 調査研究成果の質が向上することで市民の学びに寄与することができる	R3～		信州大学	松本市
47	地域資料調査整理事業	旧開智学校校舎所蔵の古典籍資料や地域で所蔵する資料の保存活用に向けた調査整理事業を行うもの(毎月1回程度実施)	旧開智学校校舎所蔵のものを含めた地域資料の保存整理の促進 調査研究成果の質が向上することで市民の学びに寄与することができる	R4～		信州大学	松本市

No.	事業名	事業概要	事業の効果	事業期間	構成する機関		
					産	学	官
48	旧開智学校校舎及び建築資料調査研究事業	国宝校舎や立石清重を中心とする建築資料の調査研究を行い、旧開智学校校舎の建築的な価値を明らかにすることを目的とした事業(年に4回程度調査実施)	旧開智学校校舎の建築的価値の深化及びPR 調査研究成果の質が向上することで市民の学びに寄与することができる	R4～		信州大学	松本市
49	学生実習	保健師を目指す学生の公衆衛生看護における保健所の機能・役割を学ぶための臨地実習を受け入れるもの ＜主な連携内容＞ 1 実習オリエンテーションでの事業説明 2 市保健所事業見学 3 実習時の指導・助言	相互の人材育成	R3～		信州大学	松本市
50	フレイル予防事業データ分析	市で行っているフレイル健診データ等の分析を信州大学及び市立病院、市が共同で行い、本市の状況を把握し、新たな施策展開や体制整備に生かすもの。	データに基づいた施策の展開や、人材育成	R4～		信州大学	松本市 松本市立病院
51	健康増進事業(肝炎・肝がん対策)	健康増進法に基づく肝炎対策として、肝疾患診療連携拠点病院である信州大学医学部附属病院と一緒に啓発を行うもの。 【令和6年度】 肝がん撲滅運動の一環として、課の生活習慣病予防ブースと一緒にブースを開設し、肝がん、肝炎について啓発するもの。	小学生から高齢者まで幅広い世代に啓発することで、肝炎・肝がんに対する正しい知識を高める。	R5～		信州大学	松本市